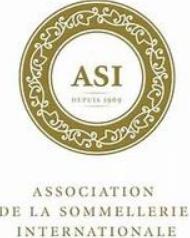


報道関係各位
Press Release

2020年12月22日
日本酒造組合中央会

全国の1,691の蔵元が所属する日本酒造組合中央会が A.S.I.世界最優秀ソムリエコンクールへの 業界初となるパートナーシップを締結



全国1,691の蔵元が所属する日本酒造組合中央会（Japan Sake and Shochu Makers Association、以下：中央会）は、このたび、国際ソムリエ協会（Association de la Sommellerie International、以下：A.S.I.）の行う世界最優秀ソムリエコンクールへの業界初となるパートナーシップ締結を発表しました。2022年にパリで開催される第17回A.S.I.世界最優秀ソムリエコンクールに世界各国から参加するプロフェッショナルたちに対して、日本酒についての研修プログラムや試飲プログラムを提供します。

A.S.I.が3年ごとに開催する世界最優秀ソムリエコンクールは、4日間のハイレベルな競技を行い、世界最高のソムリエを決定する大会です。2022年に予定されている第17回大会は、フランス・パリが舞台となり、A.S.I.とフランスソムリエ協会（以下：UDSF）が運営します。世界最優秀ソムリエコンクールは世界最高峰のソムリエコンテストとして世界中から注目されており、決勝戦は世界中に生中継されるほどです。日本では、1995年の東京大会で田崎真也氏が歴代8人目の優勝者となりました。

日本酒造組合中央会は本年6月にUDSFとのパートナーシップ締結を発表、ワインと美食の世界の中心地であるともいえるフランスの第一線で働くソムリエたちを通じて、日本の伝統と文化を代表する日本酒の魅力と可能性をアピールできる機会を創出することを目的に協業を始めています。

中央会では今後も、日本酒や本格焼酎の魅力を世界中の人々に紹介し、飲食における楽しみをさらに豊かにすることで世界中の食文化の多様性に貢献してまいります。

■日本酒造組合中央会について

酒類業組合などに関する法律に基づいた業界団体で、酒類業界の安定と健全な発展を目的とし、全国の1,691の蔵元（日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりん）が所属しています。また、『國酒（こくしゅ）』といわれる日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりんについて情報発信することで、国内外へ幅広く認知向上する活動に取り組んでいます。

«報道関係者からの問い合わせ»

日本酒造組合中央会 PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

担当：北澤（080-4952-8681）、藤岡 Mail : japansake@ssu.co.jp